

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日:平成28年10月25

作成者:足立

会議名: 吉身学区まるごと活性化 歴史伝統中山道プロジェクト会議(第4回)

日時:平成 28年 10月 14日(金)

場所:吉身会館 小会議室

出席者(行政): 地域振興・交通政策課 高山主任、吉身会館 高岡館長、足立

使用資料:

議題

- 中山道ルートマップの作成について
- 平成29年用 中山道カレンダーの内容について

会議要旨

内容

中山道ルートマップの作成について

事務局:先般、守山、吉身学区のみならずから「中山道ルートマップに掲載したい歴史資源」を募り、出された資源をもとに、守山の委員の方々、吉身の事務局と図案の意見交換を行いました。今回提示している2つの案は、その時の意見交換をふまえてラフ画したものです。守山の委員の方々の希望としては「街並みをクローズアップした形で背景を整えていくようにしてほしい」というものでしたが、今回の吉身プロジェクト会議で出された意見も踏まえて、マップの校正を更に加えていきたいと考えています。以上の点から、プラン1、2の案にこだわらず、様々な意見をいただければと思います。

委員:資料2の歴史資源がどこにあるか見えるように、次回の会議では資料2に出されている資源に番号を付けてもらい、マップに表記してほしい。そうすれば歴史資源がある場所にばらつきがある、という部分が見えてくるので。もう一点は、下之郷遺跡はマップの中に取り入れてほしいという点。中山道とは距離があるので、例えば注釈のような形ででも、下之郷遺跡は表記してほしい。

委員:中山道を主とすると、吉身学区にあるのは慈眼寺と馬路石邊神社のみです。学区内の他の歴史資源の多くは線路の向こう側(立入が丘小学校区)にあります。一方、守山の歴史資源は中山道沿いにずっと並んでいる。中山道から離れた場所にある吉身学区の歴史資源をマップにどう落とし込んでいくのか。

委員:プラン2は中山道を中心とした図で、プラン1は守山、吉身の全体的な位置を示した図であると思います。プラン2では中山道から離れた所にある歴史資源は描きにくいと思うので、プラン1のほうで立入が丘小学校区のほうの資源もマップの中に取り入れられるようにしてもらえるとありがたいです。

委員:「A神社からB神社まで〇キロ」であったり「〇〇の信号を曲がって〇メートルでC神社に着く」というような、様々な形での道の案内をマップの中に入れると分かりやすいマップになると思います。

委員:結局、中山道を中心としたマップにするのか、中山道から離れた場所にある歴史資源も取り入れたマップにするのか。どっちなのでしょう。

事務局:このマップは守山と吉身の合同で作成していくものなので、吉身学区の資源も取り入れていくつもりです。

(裏面に続く)

会議要旨

内容

委員：資料2の中に人名がふたつある（立入宗継、森口華弘）が、これらをルートマップの中に取り入れるとすれば、例えば立入宗継は立入城主として立入城跡と共に紹介する。また森口華弘の作品がうの家に展示されているので、うの家の紹介とともに華弘を紹介する、といったような方法で紹介してはどうでしょう。また、岡田逸治郎もマップで紹介してほしい。慈眼寺に碑がありますので。

事務局：先ほどから出ている意見で、中山道から離れている資源をどうマップに取り入れるかについて、プラン1の構図をもっと横に広げたらプラン2の要素もカバーできるのではないかと考えています。そして、本日の皆さんの意見も聞いて、吉身西交差点を境に左右に振ってみてはどうか、と思っています。横長でプラン1をベースにしてプラン2の要素を取り入れていくと、中山道から離れた場所にある資源もカバーできると思う。そして、マップの中にやむを得ず入れられない場合は先ほど出されたように引き出し説明にうまく当てはめていけば良いかな、と考えています。

委員：下之郷遺跡、服部遺跡、伊勢遺跡を取り入れられるようなマップを作成できれば良いと思う。

事務局：そういった資源を取り入れていくとともに、そこに辿り着く目印になるポイントを間違いないようにプロットしていくとそういった図柄になると思います。今回のマップは栗東から野洲川までの範囲を押さえたいと思っていますので。

委員：観光で来られている方は守山のどこを巡っているのでしょうか？

委員：やはり中山道が多いです。中山道から下之郷遺跡まで歩いている方もいるようです。

事務局：資料2に挙がっている歴史資源の他にも、今後挙げていっても対応できるのか。

事務局：現在構成案を練っているところなので、むしろ今後もどんどん出してほしい。年度内に案として一旦完成させる予定にしているのでまだ間に合います。今回いただいた意見を踏まえ、マップのたたき台を作成していきたいと思っています。

2017年カレンダーの作成について

事務局：中山道周辺にスポットをあてた2017年版カレンダーについて、守山学区と協議を重ね、現行案を作成したので、確認いただき、ご意見をいただければと思います。今年度は「もりやま 今昔」と題して、中山道周辺の歴史資源や文化資源の今と昔の写真を並べたデザインとなっており、完成品はA3フルカラーでの作成を予定しています。

委員：予算はどれくらいを想定しているのか。

事務局：両学区あわせて300部、500部のいずれかの印刷部数を想定しており、吉身学区にある印刷会社に見積もり依頼をしたところ、300部の場合は約23万円、500部の場合は約26万円だったので、一学区12～13万円を想定しています。

事務局：印刷部数について、昨年度、守山学区では130部印刷し無料配布されました。昨年度、カレンダーが好評だったので今年度は印刷部数を増やして配布を考えておられる。吉身学区でも配布するにあたりいくら配布するのか、「完成度の高いものなので買ってでも欲しい」という人がいるかもしれない、という想定の中で決めていけたらと思う。

委員：昨年度、守山学区はどのような形で配布したのか。

事務局：公共施設分のほか、市民向けに70部を会館に置き、希望者に無料配布された。

委員：お金を出してでも欲しい、という人もいるのではないかと。

事務局：まるごと活性化補助金のなかで行うものなので儲ける事は出来ないと思います。実費分を徴収して増刷、という考え方になるのではないかと。

委員：2016年カレンダーは紙をめくっていくと、9、10月頃になると抜け落ちてしまった。この点は2017年版は改善されているのか。

事務局：2017年版はカレンダー上部に切り取り線をつくり、上部留め部分の紙は抜けずに紙を破れるようなつくりになろうと思っている。

事務局：印刷部数は500部で守山学区と調整してもよろしいか。

委員：異議なし。

事務局：また、次週守山学区でカレンダーの内容について検討会議が行われます。その会議をふまえて最終案を事務局で作成し、次回会議で最終確認していただこうと思いますので、よろしくお願いします。なお、内容校正は随時受け付けておりますので、ご意見あれば事務局までご連絡ください。

決定事項	・守山、吉身学区で作成した「2017年版 守山の今昔 カレンダー」は原案で了承。
次回以降について	